

FAX誤送信防止パッケージ

自動応答でFAXの誤送信を防止する

FAX誤送信を未然に防止したい！ FAXにセキュリティ対策を施したい！

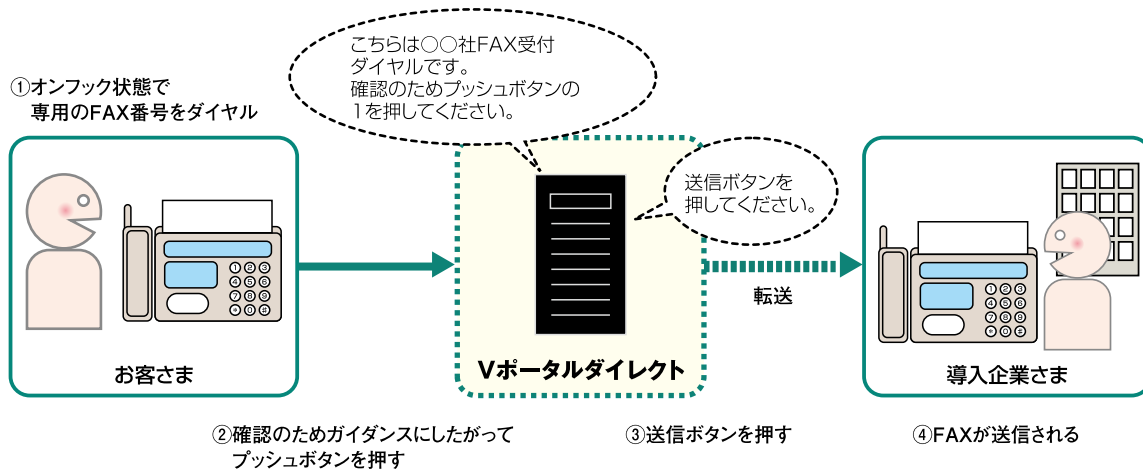
FAXの誤送信やFAXのセキュリティ対策でお困りではありませんか？

FAXは個人情報漏洩の盲点。手動でのFAX送信は人的なミスにより誤送信を招きかねません。

FAX誤送信防止パッケージを活用することで、今お使いのFAX機はそのままにFAX誤送信を未然に防ぐことができます。

FAX専用電話番号に発信し、自動応答により送付先をガイダンスで確認、ガイダンス確認後、プッシュボタンを押すことで初めて送信可能な状態になるため、FAX誤送信を防ぐことができます。

Vポータルダイレクトを利用したFAX誤送信防止概要



● FAX誤送信防止パッケージのポイント

- Point 1** 人的ミスによるFAX誤送信を最大限に防止できる
- Point 2** 従来から使っているFAX機はそのままに組み合わせて利用できる
- Point 3** 操作がシンプルでわかりやすい
- Point 4** ガイダンスを流すだけでなく、ユーザに確認動作を促すことで、セキュリティを強化できる

● 標準コールフローイメージ

こちらは●●社FAX受付ダイヤルです。
確認のためプッシュボタンの1を押してください。

①をプッシュ

それでは、送信ボタンを押してください。

送信ボタンをプッシュ

あらかじめ設定した送付先FAX番号にFAXを送信*

*Vポータルダイレクトから指定のFAX番号へ転送料金が別途かかります。

*ガイダンス内容は一例ですのでこの限りではありません。用途にあわせて文で制作いたします。

FAX誤送信防止（フリーダイヤル×ベストエフォートタイプ：回線共有型 最大92ch利用）パッケージ概算費用

初期費用 382,000円～（税込412,560円～）

初期登録料*1、フリーダイヤル回線工事費*1.2、標準音声コンテンツ制作費*1.3 含む。

月額利用料金 月額 262,900円～（税込283,932円～）

Vポータルダイレクトプラットフォーム利用料（ベストエフォートタイプ：回線共有型 最大92chの場合）*1、フリーダイヤル回線利用料*1.2、保守基本料*1.4、コンテンツ預り料*1.5 含む。
【その他】Vポータルダイレクトから指定のFAX番号へ転送料金が別途かかります。

*1：利用料金のご請求は「初期登録料、プラットフォーム利用料、コンテンツ預り料」「保守基本料」「回線初期工事費、回線利用料、FAX転送料金」「標準音声コンテンツ制作費」でそれぞれ別請求となります。
*2：回線が既設のフリーダイヤルの場合はVポータルダイレクト用に回線の設定変更が必要となります。料金については現在の設定状況により異なりますので詳細はお問合わせください。
*3：標準音声コンテンツ制作費は弊社紹介のベンダーでの制作代行費用となります。（基本開発費）（フロー作成費）（アナウンサー音声収録費）を含みます。（データベース構築費）および（カスタマイズプログラム作成費）は別途お見積りとなります。
*4：保守契約については、Vポータルダイレクトの運用全般を担当しておりますNTTアイティ株式会社と直接契約していただきます。保守契約条件についてはNTTアイティ株式会社の契約条件をご確認ください。また、弊社紹介のベンダーでコンテンツ制作代行の場合、またはVポータルエディタをご利用でコンテンツ制作される場合以外で、お客様で独自にコンテンツを制作される場合、別途追加保守料月額20,000円（税込22,000円）が発生します。
*5：コンテンツのお預かりについては、Vポータルエディタを利用して制作されたコンテンツ、または弊社ご紹介のベンダーにコンテンツ制作をご発注いただいたコンテンツに限らせていただきます。

<通話料金について>
フリーダイヤルについてはArcstar IP Voice契約の場合の通話料金が課金されます。

<ユニバーサルサービス料について>
お客様のご利用いただく番号（フリーダイヤル番号 / Arcstar IP Voice番号）ごとに毎月「ユニバーサルサービス料」をお支払いいただきます。
「ユニバーサルサービス料」の番号あたりの単価（月額）は、ユニバーサルサービス支援機関が6ヵ月ごとに算定しています。ご参考 <https://www.tca.or.jp/universalservice/>